

## 平成 29 年度第 2 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録

- 日時 2018 年（平成 30 年）2 月 8 日（木）午後 3 時～4 時 15 分
- 場所 逗子市役所第 3 会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）  
大河内誠（会長）、宮川光男、村田祐子、市川明宏
- 欠席者 佐久間健（副会長）
- 事務局 文化スポーツ課：翁川担当課長、黒羽係長、鬼原主事、森主事補
- 公開の有無 有
- 傍聴人の数 0 人
- 資料  
事前配布資料  
資料 1 平成 29 年度第 1 回逗子市スポーツ推進審議会議事録（案）  
資料 2 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）  
当日配布資料  
次第  
名簿  
資料 3 財政対策プログラム
- 記録 森主事補 2018 年（平成 30 年）2 月 8 日記録

### 開会

#### 定数の確認、資料の確認

##### 事務局

本日は、委員数 5 名のうち 4 名の委員の出席をいただいているので、「逗子市スポーツ推進審議会に関する条例」第 7 条の規定により、会議が成立している。

##### 会長

初めに、前回の議事録の承認をお願いする。平成 29 年度第 1 回逗子市スポーツ推進審議会議事録（案）について、事前に送付しているが、異議はあるか。

#### 【異議なし】

##### 会長

異議がなかったので、本議事録（案）を承認する。

## 【議事】

(1) 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について

### 会長

それでは、議題 1「平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書」について、事務局から説明をお願いします。

### 事務局

資料 2 について、第 1 回会議では評価調書の所管課の自己評価を提示し、委員の皆さまから意見をもらった上で、審議会としての A～D 評価を決定した。

第 2 回会議に先立ち、委員の皆さまからの意見のまとめ（案）を加筆し、事前に送付した。今回は審議会のまとめとして、内容について意見をもらいたい。委員の皆さまからの意見をもとに加筆修正の後、委員の皆さまの最終確認を経て確定する。確定した評価調書は、今年度末までに教育長に報告する。審議は、4 つの事業を順番に行う。

事業 1「逗子市スポーツの祭典の開催」のまとめ（案）について説明。

### 会長

事業 1「逗子市スポーツの祭典の開催」の審議会の意見のまとめ（案）について、修正等の意見があればお願いしたい。

### 宮川委員

緊急財政対策に伴い、来年度もスポーツの祭典は実施されるのか。今年度は素晴らしいイベントだったが、来年度との継続性についてはどうなるのか。

### 事務局

交付金としての市からの予算はないが、実行委員会では実施に向けて検討している。ただし、会場費や事業保険料等といった必要経費は掛かるので、財源の確保に動く必要がある。今年度のような独立のイベントでは実施できないが、何とか継続していきたい。

### 会長

「持続可能性」をテーマに、知恵を出し合い考えていく必要がある。「スポーツ都市宣言」や、基幹計画である「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」の理念を、市がどのように市民に落とし込んでいくかが重要であり、財政難という理由でこれまで積み上げてきたスポーツの基盤を外さないでもらいたい。また、「逗子市スポーツ推進計画」では、「健康づくり」「場づくり」「交流づくり」「基盤づくり」の 4 つの基本目標がある。今年までできた活動を、今後どれだけ継続できるのか、審議会の中で提案していく必要がある。

他に意見がないようなので、評価については、引き続き B でよろしいか。

## 【異議なし】

## 会長

次に、事業2「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について、事務局から説明をお願いします。

## 事務局

事業2「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」のまとめ（案）について説明。

## 会長

事業2「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」の審議会の意見のまとめ（案）について、修正等の意見があればお願いしたい。

## 宮川委員

「小学生のためのスポーツ団体一覧」を作成し、市ホームページで閲覧できるのは良いことである。指導している沼間グリーンファイターズ（少年野球チーム）では、今年度小学6年生が0人だったが、「小学生のためのスポーツ団体一覧」を見て体験入部し、そのまま入部した小学6年生の子どもがいた。小学6年生の子どもが入部したおかげで、40数年途切れなかった「お別れ野球」を開くことができた。「小学生のためのスポーツ団体一覧」のデータ化は、意外と大きな影響を与えている。

## 会長

若い保護者は昼間に仕事をしていることが多いため、学校現場で電話による緊急連絡網が機能しておらず、最近ではメールアドレスを登録している。また、娯楽が多様化している中で、市内では地区の子ども会が解散する等、子ども会が子どもを集められない時代になっている。子ども会の活動が活発でなくなり、保護者同士のコミュニケーションが少なくなってきたので、どこにいても情報を得られるデータ化が今後は主流となっていくのではないかと。

また、神奈川県知事が力を入れている事業である未病対策について、高齢化が進行している逗子は先進的である。

## 市川委員

未病対策について知事は推進しているが、今後知事が替わるようなことがあれば、先行きは未定となる。

## 会長

未病対策の方向性は間違っていないと思う。継続は力なりである。

日本は、ナショナルトレーニングセンターができたことにより競技スポーツが力を付けてきて、特にジュニアアスリートコースの効果が出ており、優秀な選手を数々輩出している。逗子葉山地区中学校体育連盟では、硬式テニス部を作ってほしいと言われている。逗子はレスリングや陸上の選手等、力を付けた選手が出てきた。

他に意見がないようなので、評価については、引き続きBでよろしいか。

## 【異議なし】

### 会長

次に、事業3「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について、事務局から説明をお願いします。

### 事務局

事業3「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」のまとめ（案）について説明。

### 会長

事業3「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」の審議会の意見のまとめ（案）について、修正等の意見があればお願いしたい。

働き方改革という言葉だけが先行しており、教員の負担はそれほど軽減されていない。特に部活動は、力の入れ方次第で教員の負担だけでなく、子どもにも負担を強いることがある。そのため、土休日の部活動は申請制にしたり、普段の部活の時間と大会の際の時間のバランスを見たりしないと、教員も子どもも健康が保てないと考える校長もいる。一方で外部指導者に部活だけとはいえ任せてしまうのは、はたして良いのかという声もある。

### 市川委員

県立高校の中には、土休日の部活動を一切休みにすることを考えている学校もある。

### 会長

現在、バドミントン、テニス、バレーボールについては一部の学校で外部指導者を採用する等、学校現場における受け入れ態勢はできつつある。しかし、新任の教員に部活動を担当しなくても良いという考えが広まるのは困る。教員にとって、1クラスの全教科を教える小学校と専門教科等の限られた教科を教える中学校とでは、苦勞の度合いが異なる。部活動に積極的に関わろうとする教員もいるので、モチベーションを削ぐことは良くない。部活動で救われている子どももいるので、部活動の時間を削ることについて一概に良いとは言えない。

### 官川委員

部活動では上下関係等、学びはたくさんある。近年問題視されている中学生の自殺については、気軽に友人に伝えられる環境づくりが必要であり、スポーツを通じてそのような環境が創られれば良いと考える。しかし、安易な部活動の推進は先生の過重労働といった問題もある。

### 会長

沼間中学校は、生徒数が年々減少傾向である。現在、沼間中学校、久木中学校の野球部

のメンバーが少なく連合チームを作る状況である等、生徒数が少ない場合は部活動に限り  
がでてくる。将来的に、小中学校は合併を進めていく必要があるのではないか。生徒数の  
減少は、今後の行政課題の一つではないか。

今年、神武寺トンネルが完成すれば、将来的に市内を循環するバスを通せる可能性も広  
がる。学区の再編成が考えられ、各校の生徒数も変動することが予想される。ただし、全  
体的には各校とも小規模校になってきており、好きな部活動を選べないこともある。部活  
動ではできないスポーツの需要を、どのように地域が受け皿となれるか。

逗子にも数多くある団地では一世代が過ぎると急激に子どもの人口が減少するため、逗  
子に合ったスポーツづくりについては、今後も考えていく必要がある。そのためには、学  
校も頑張らなければならない。

地域の外部指導者は増加傾向であり、感謝している。ただし、教えられる生徒数に限り  
がある。

#### **村田委員**

部活動について、基本的には希望した部活動に入部できるのか。

#### **会長**

その通りである。現在、部活動の入部率は7割程度で、部活動に入っていない子どもは  
地域のスポーツクラブ等が受け皿になっている。部活動の入部率が少ない地域は、5割程  
度のところもある。

他に意見がないようなので、評価については、引き続きBでよろしいか。

### **【異議なし】**

#### **会長**

次に、事業4「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」について、事務局から説明をお願  
いする。

#### **事務局**

事業4「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」のまとめ（案）について説明。

#### **会長**

事業4「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」の審議会の意見のまとめ（案）について、  
修正等の意見があればお願いしたい。

#### **村田委員**

今日も朝からバレーボールを行ってきたが、隣の面で「うみかぜクラブ」の卓球が行っ  
ていて、60人から70人程度いた。参加者は高齢者が多く、継続して参加しているようだっ  
た。寒い時期でも、朝から体を動かそうとする意識の高い人が多い。若者でも参加しやす  
いメニューがあれば良い。

## 会長

会員数は伸びているのか。

## 事務局

近年は高止まりの傾向にある。

## 宮川委員

60 歳以上の会員が多いようである。

## 事務局

利用者の統計を見ると、継続して何度も利用する会員は 60 歳以上が多い。

## 会長

スポーツの楽しみ方は多様になってきた。特に、24 時間利用可能なスポーツクラブができる等、個人で楽しむ人が増えてきた。主な対象が高齢者のスポーツには、外部の人や若者は入りづらい。若者のニーズにどのように応えるか、工夫を凝らす必要がある。

スポーツの楽しみ方を限定するよりは多種多様に広げた方が良い。近年 AI の技術が進歩しているように、スポーツのニーズも変化していくだろう。予算の問題もあるが、あらゆるニーズに対してうみかぜクラブがどのように受け入れるか、課題である。

## 市川委員

数字を見ると、逗子市はスポーツに積極的であり様々な取り組みを行っている。仕掛け方が上手いのか、イベントの参加率も高い。3 世代が一緒に参加できるイベントがあれば良いが、ニーズを見ながら仕掛ける側は大変だと思う。数字を見る限りは、非常に頑張っていると思う。

## 会長

良い面は伸ばしていければ良い。

他に意見がないようなので、評価については、引き続き B でよろしいか。

## 会長

事務局は、本日の審議での委員の意見をまとめ（案）に反映したものを作成し、委員の皆さまに再度送付して最終確認をお願いしたい。最終確認が終わったら、平成 28 年度の評価調書を確定とする。

今後の流れについて、事務局から説明をお願いする。

## 事務局

評価に関する修正の意見がなかったなので、そのまま確定とさせていただきたい。また、確定した評価調書は、2 月末までに教育長に報告する。

## (2) その他

### 会長

議題2「その他」について、事務局から説明をお願いします。

### 事務局

- ・平成30年度のスポーツ推進について（緊急財政対策等）

緊急財政対策の経緯について、平成30年度の予算編成時点で約7億円が不足している。歳入に見合う歳出を原則に、市民生活への影響度や事業実施の緊急度といった視点から優先度を判断した上で、特にイベント関連はゼロベースで検討する等、財源の確保に真剣に取り組み、歳入増・歳出減を前提とした緊急財政対策プログラムが打ち出された。

緊急財政対策に伴い、チャレンジデーは休止するが、スポーツの祭典、市内一周駅伝競走大会（以下、市内一周駅伝）は継続を検討している。

逗子アリーナ、有料の公園施設について、従来の最終月曜日休館・休場から、毎週月曜日休館・休場となる。ただし、月曜日が祝日である場合は開館・開場する。第一運動公園及び小坪飯島公園のプールについて、平成30年度は7月16日（月・祝）から9月2日（日）と開設期間を短縮し委託料を減額した。小中学生、65歳以上の高齢者の無料券も廃止した。

スポーツ推進事業としての交付金の休止、委託事業・補助金の見直しにより、チャレンジデー及びスポーツ・レクリエーションフェスティバルは休止、今年休止した三浦半島駅伝は平成30年度に再開しても参加しない。

一方で、スポーツの祭典はスポーツの祭典実行委員会において実施に向けて検討している。市民まつりのスポーツ部門という形式で規模を縮小しながらも、オリンピック・パラリンピック種目の体験を中心に試合形式で行い、気運を高め、集客を増やし、従来課題であった社会貢献を行うことを検討している。運営に際しては、逗子市体育協会の協力のもと外部資金を獲得していく。

市内一周駅伝は助成金を申請中である。年度内に神武寺トンネル拡幅工事が終了する見込みであり、助成金を利用してコースを6区間の市内一周駅伝に戻す予定である。助成金が下りなくても、逗子市体育協会、逗子市陸上競技協会と協議して、参加料の値上げや協賛の獲得等の方法で実施に向けて検討している。地域ファミリー運動会、地域対抗球技大会は、予算を縮小しながら継続しての実施を検討している。市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会にも参加する予定である。市民総合体育大会は市民大会のような形式で、逗子市体育協会の主催で、逗子市競技連盟及び逗子市レクリエーション協会に加盟する団体に参加を呼び掛け、開催を検討している。ジュニアスポーツ教室はジュニア育成補助事業と形を変えて、ジュニアヨット教室、ジュニアウィンド教室を実施する。

うみかぜクラブは総合型地域スポーツクラブとして、逗子市民だけでなく、葉山や横浜・鎌倉といった周辺地域を巻き込んだスポーツクラブである。施設使用料の負担が大きいことから、平成30年4月からプールメニューを廃止し、他のスポーツ教室についてもアリーナを中心とした施設使用料の掛からない場所で行う等、メニューの見直しをしながら、参

加資格を小学生以上に拡大し、若者や非会員の参加を推進する。また、従来は年会費のみで全てのメニューに参加できたが、平成 30 年度からは都度会費をもらう。一方で、非会員でも一回 500 円で参加可能にし、参加の敷居を低くして会員の増加を検討している。その代わりに、会員の特典を増やす、傷害保険を付与する等で、年会費及び都度会費と経費とを相殺する。うみかぜクラブは平成 31 年度から toto の補助金がなくなるため、採算の取れる事業構成に大きく変更する必要がある。市の財政的支援は元々ないため、緊急財政対策とは関係ない。

#### 会長

ただいまの事務局の説明について、意見・質問等あるか。

財政について、逗子はいつも身の丈にあった活動をしていたはずである。市長、議会、行政のチェック機能に疑問を持つ市民もいる。

今まで行っていたスポーツ推進も含めて、予算を前提に継続していたものもある。スポーツ推進の芽は摘み取らず、何とか知恵を出しあって、逗子のスポーツの都市宣言を継続してほしい。

緊急財政対策について、当面は 2 年継続か。

#### 事務局

当面は平成 29 年度、平成 30 年度の 2 年である。平成 31 年度に再度見直しを行う予定だが、事業の休止等は長期的になる可能性もある。事業は、一度休止すると復活は非常に難しい。形を変えてでも、継続することが重要である。

スポーツの祭典についても、予算に余裕が生まれてくれば開催時期を春に移行して、スポーツ行政の柱としてリーディング事業にふさわしい事業にしたい。

#### 会長

個人でスポーツを楽しむ人は継続できるが、コミュニケーションを楽しみにスポーツに参加するために、逗子に住む意義を感じる人もいる。子どもの場合も、子どものための事業が手厚い近隣の市町村に移動することが無いようにしてほしい。

逗子の高齢化はスポーツ事業が支えているが、このままだと逗子らしさが無くなってしまっているのではないかと。

「する、観る、支える」の中で楽しみがなければいけない。何とか継続していくために、皆さまで知恵を出し合ってほしい。

#### 会長

以上で本日の議事は全て終了した。進行を事務局に戻す。



**事務局**

次回の審議会は、来年度の6月頃を予定している。

以上で「平成29年度第2回逗子市スポーツ推進審議会」を閉会する。

◇◇◇終了◇◇◇

以上